

市長総括説明から

5月31日、平成25年第3回市議会定例会が開会しました。市長が第3期市政の所信を述べた後、当面する市政の諸課題ならびに提出議案の主なものについて説明しました。その概要をお知らせします。

安全に安心して暮らせるまち

○新庁舎における

防災システムの構築

災害対策本部の情報処理機能を強化し、災害時に情報収集・共有、市民への情報提供などを適宜、適切に行えるよう防災システムを整備します。

また、防災行政無線を本庁から一斉放送できるようにします。全国瞬時警報システムの緊急情報も市全域での放送が可能となります。

○健康づくり推進モデル事業

の成果の中間報告

健康づくり推進モデル事業は、健康づくり活動や地域の結びつきを高める先駆的な取

組みを行う集落を支援し、その成果を歩いて暮らすまちづくりの推進に生かすものです。4区で運動教室などの事業を展開しており、開始3カ月間の体組成測定、血液検査の結果、糖尿病予防に効果があることなどが示されました。

○風しん予防接種緊急補助事業

県の風しん予防接種の助成制度創設を受け、市は6月から来年3月末までの接種分に対して助成します。

○但馬こうのとり周産期医療センターの整備

公立豊岡病院組合で進められていた周産期医療センターの基本設計がまとまり、センターの概要とスケジュールが示されました。来年度内の供用開始を目的に年内に工事着手される予定です。

○軽・中度難聴児補聴器購入費等助成事業

18歳未満の軽・中度難聴児の補聴器の購入費用に対する助成制度を創設します。

○国民健康保険税条例の一部改正

繰越金や国民健康保険財政調整基金を充て、被保険者一人当たりの平均国保税額を

9万4229円、昨年度比0・07パーセント増に抑えます。モデル世帯の試算では、昨年と同じ所得の場合、昨年度に比べ減額になります。

○こども医療費助成事業拡充

県制度の改正を受け、通院医療費の助成対象を現行の小学4年生から6年生までを、中学3年生までに拡大します。また、小学4年生から中学3年生までの入院医療費の無料化は、申請により助成金を給付する現金給付から、医療機関で助成給付する現物給付に7月から変更します。

人と自然が共生するまち

○クオノトリ野生復帰事業

3月にNPOクオノトリ湿地ネットが、海外ファンド事業「ラムサール・ダノンエビアンプログラム」の採択を受けました。この資金を活用して、湿地や里山再生のノウハウを磨きます。

韓国では、クオノトリの野生復帰場所に禮山郡が選ばれ、放鳥の準備が進められています。5月28から29日まで、同郡守をはじめとする視察団が来訪し、豊岡の取組みを視察しました。本市と禮山郡は、

クオノトリの野生復帰に関する交流を行うことについての合意書を取り交わしました。

○大規模太陽光発電事業

山宮地場ソーラー第1期は、竣工から5カ月半の発電量が、想定額の104・6パーセントになっていきます。第2期事業は8月上旬に駐車場増設部分が発電開始、9月末に旧スキ1場分が発電開始予定です。日高町堀の市遊休地は、土地貸付契約を締結した株式会社カネカにより、12月に発電開始される予定です。

持続可能な「力」を高めるまち

○海外戦略の推進

外国人観光客の誘客(インバウンド事業)の推進に取り組みしていきます。具体的には、外国人によるモニターツアーやアンケート調査、欧州最大の旅行博「WTM in London」への出展、フランス政府の公式機関「アンスティチュ・フランセ東京」での講演など、ヨーロッパの方に訴求するプロモーションを展開していきます。

また、全但バス株式会社の特急バスにミシユラン・グリーンガイドをイメージしたラッピングを施し、大阪・城崎温泉間で(仮称)ミシユラン・グリーンガイド・ライナー」が運行されます。

○夏に向けての情報発信戦略

「豊岡エキシビジョン」を8月2日から9月5日まで、現在首都圏集客力ランキング首位の商業施設「渋谷ヒカリエ」を会場として開催します。主な内容は①渋谷ヒカリエのイベントスペースに6日間限定の市長室を設置②同施設のレストラン「d47食堂」で「豊岡定食」を8月2日から9月5日まで販売③「d47デザイントラベルストア」で、8月19日から9月1日まで豊岡産商品を取扱います。

○名探偵コナン 城崎温泉 ミステリーツアー

台湾・韓国からの観光客を対象に、アニメキャラクター「名探偵コナン」を起用したツアーを、国、県、城崎温泉観光協会、JR西日本と共同で実施します。

○アンテナショップ「クオノトリの恵み豊岡」の売上実績

2年目となる昨年7月から今年4月までの1カ月当たりの売上高は、1年目の1カ月当たりの売上高に比べ32パーセント増加しています。また、来客数も、前年同期間と比較して、33パーセント増加しました。

○豊岡農業スクールの開校

明日の農業の担い手を継続的に養成するため、「豊岡農業スクール」を4月に開校しました。

研修生は、就農に必要な農業生産技術と経営管理能力を身に付けるため、市内の認定農業者の法人組織に1年間派遣されて実務研修を受けます。また、座学研修も受講します。

○北近畿豊岡自動車道建設

事業の進捗状況

国から、(仮称)豊岡北から(仮称)豊岡南までの間について、都市計画決定に向けた環境影響評価の手続きを開始するとの発表がありました。

今後、都市計画決定された後、事業化される予定です。

○神鍋線上限200円バス

社会実験

1年間の社会実験の結果を受けて、さらに1年間社会実

験を実施することとし、今年4月から再スタートしました。

それに先立ち、3月に「神鍋線乗って守ろう市民運動推進協議会」総会が開催され、市、全但バス株式会社、地元が、それぞれの役割と責任を果たすことを再確認する協定を締結しました。

■未来を拓く人を育むまち

○夢への挑戦応援事業

(夢の教室)

本年度から市内の小学5年生全児童を対象に、「夢への挑戦応援事業(夢の教室)」を実施しています。サッカーをはじめ、いろいろな種類の選手、OB、OGが、「夢先生」として小学校の教壇に立ち、「フェアプレー精神」や「夢を持つことの大切さ」、「仲間と協力することの大切さ」を子どもたちに伝える「夢の教室」を開催します。

4月に日本サッカー協会と県内初の相互協力協定を締結し、当日、第1回「夢の教室」を実施しました。6月中旬までに市内全小学校で「夢の教室」の開催を終える予定です。

■人生を楽しむ

お互いを支え合うまち

○南極事業

植村直己の冒険心を引き継ぎ、夢を抱き、挑戦する心を育むとともに、地球環境問題を多角的視野で捉えることのできる人づくりを目指して、南極事業を実施します。

第53次南極地域観測隊員の市職員による、市内全小・中学生を対象にした出前授業、衛星回線で第54次南極地域観測隊員による南極授業ライブ2013、南極講演会や南極紹介展などを開催します。

○(仮称)日本劇作家大会

2014豊岡大会の誘致

日本劇作家大会とは、日本の劇作家・俳優・演出家・美術家・制作者などの幅広い演劇人のほか、映画・テレビなどのジャンルからもゲストを迎えて、シンポジウム・ワークショップ・パフォーマンスなどを行うイベントです。

来年4月に開館するアーテリスト・イン・レジデンス機能をを持つ(仮称)城崎国際アートセンターを全国にアピールするため、また、夢但馬2014イベントの一環として、日本劇作家大会を誘致します。

■市政の運営

○志賀直哉城崎温泉来訪100周年記念事業

今年には志賀直哉城崎温泉来訪100周年にあたります。記念事業が開催され、市が補助します。

具体的には、紺野美沙子さんによる記念フォーラムや、同志社女子大学ゼミ、資料展などの開催、城崎温泉オリジナルブック『城の崎にて』の作成が行われます。また、散歩道が整備されます。

○神鍋地域活性化計画

日高町観光協会は、「次世代のために、今できること」をまとめた「神鍋地域活性化計画」を3月に策定されました。市は、引き続き地域の取組みを支援していきます。

○給与減額支給措置

国家公務員の給与減額措置を踏まえ、今年7月から来年3月まで、市職員・市長・副市長・教育長の給与の減額を実施します。

○地域の元気臨時交付金

国の補正予算で計上された「地域の元気臨時交付金」の経済対策の趣旨を踏まえ、今議会の補正予算に上げた6事業

を含め、3億4250万円の交付金を充当する予定です。

○現本庁舎

現本庁舎は、2階が議場で、1階と3階が市民利用施設となります。

名称は、豊岡藩の藩校「稽古堂」を引用し、「豊岡稽古堂」とします。

○新庁舎の利用

来庁者が庁舎内へ自由に入りできる時間は、午前8時30分から午後5時15分までです。

また、食堂は出石精和園が運営し、営業時間は午前8時30分から午後5時30分までを予定しています。

○新庁舎建設事業

新庁舎は7月25日完成予定で、8月の第2週と第3週の週末に健康福祉部および上下水道部を除く33の本庁部署が移転します。情報サーバー本体の移転には3日間が必要なため、8月12日は新庁舎での本庁業務を休業します。しかし、各支所業務は通常どおり行います。

8月13日に新庁舎での業務を開始し、開庁式などの式典の開催を予定しています。